

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立嶺町小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・学習した歌を口ずさんだりリズムを挨拶の中に取り入れたり、生活の中に音楽を自然と取り入れて楽しむ様子が見られ、声を合わせたり音を合わせたりすることを楽しもうとする態度が育ってきている。
- ・学習のふり返りをしたときに、分かったことやできるようになったことなどの自分の変容に気づき、学んだことを実感できるようになった。
- ・音楽づくりの活動を充実させてきたことによって思考力や判断力の高まりが見られる。歌唱や器楽などの学習でも自分なりに工夫してみようとする姿が見られる。

(2) 課題

- ・表現しようとする意欲は高い一方、互いに聴き合うことは難しいと感じている児童が多い。よく聴き取る力を高めるため、何を聴き取るのかを精査し、どう表現すればより良い音楽となるかを児童に問いながら、一人一人が歌うことに対する意欲や自信をもてる指導を模索する。
- ・行事など発表の機会に、舞台上で表現する楽しさを感じながら聴き手を意識して演奏したり歌ったりする力を養っていく。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・声や身の回りの様々な音の特徴に気付いて音楽をつくる技能を身に付ける。 ・音に耳をすませよく聴くことと丁寧に表現することを大切にする。 ・ICT 機器を活用して、図や写真・動画で分かりやすく提示し、個に応じた指導をする。	・リズムを模倣したり、言葉を唱えたり、手拍子したりする遊び、言葉の抑揚を短い旋律にして歌う遊び、身の回りの音や自分の体を使って出せる音などから気に入った音を見付けて表現するなど、音遊びの活動を充実させるようにする。	・体を動かしたり実際に音で試したりする活動から音を出してみよう声を出してみようという態度を醸成し、楽しみながらよりよい音、よりよい音楽を求めようとする態度が育つように指導の手立てを工夫する。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・いろいろな音の響きや組み合わせ方の特徴に気付いて音楽をつくる技能を身に付ける。 ・音符や音楽記号を繰り返し様々な曲で取り上げ、表現の中で身に付けられるようにする。 ・自然な発声で、心地よく歌えている感覚を大切に、友達と声を合わせながら音程の確かさを求めていく。	・異なる材質の物を組み合わせさせて使うことで生まれるそれぞれの音の響きを生かして表現するなど、即興的に表現する活動を充実させ、音楽づくりの様々な発想を得られるようにする。 ・音楽を聴いてどんな感じがする（感受）それは音楽のどんなところからそう思うのか（知覚）を結び付けることを積み重ね、音楽の感じを表す言葉を豊かに	・過去の単元で学んだ事から同士の関連を意識させ、学習が積み上がっていることを理解させながら、次への見通しをもたせるようにする。上学年の演奏などに触れ、憧れや期待をもたせる。

	しながら、音楽の諸要素に触れられるようにする。	
--	-------------------------	--

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・一人一人が自分の声のよさを認めたり得意な音域を感じ取ったりし、友達と互いによさを認め自信をもって歌えるような場を設定する。 ・音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を理解して音楽をつくる技能を身に付ける。	・各自で見付けた音を使ってみんなで模倣したり、ずらして重ねて表現したりするなどして、即興的に表現する活動を充実させ、音楽づくりの様々な発想を得られるようにする。 ・作り手の意図を強弱や速度などから読み取り、それを生かして表現する活動を通して、演奏技術を向上させながら、自分なりの意図をもって演奏できるようにする。	・多様な音楽、多様な演奏にふれる機会を通して、異文化理解や音楽へのより興味をもたせ、生活の中の音楽とのかかわりを積極的にもつように促していく。